

平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ウッドワン

コード番号 7898 URL <http://www.woodone.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中本 祐昌

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 藤田 守

TEL 0829-32-3333

四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	15,785	0.4	164	—	△218	—	△197	—
28年3月期第1四半期	15,729	3.5	△97	—	△546	—	△668	—

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △2,105百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 △2,558百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	△4.24	—
28年3月期第1四半期	△14.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	86,481	37,587	42.5
28年3月期	89,081	39,932	43.7

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 36,713百万円 28年3月期 38,955百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	3.75	—	3.75	7.50
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	3.75	—	3.75	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	32,400	1.6	800	212.5	200	—	100	—	2.14
通期	66,500	1.4	2,100	29.5	1,100	262.0	700	—	15.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ー社 (社名) 、 除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	49,209,846 株	28年3月期	49,209,846 株
29年3月期1Q	2,561,646 株	28年3月期	2,560,975 株
29年3月期1Q	46,648,568 株	28年3月期1Q	46,652,525 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業業績の改善、雇用情勢の改善など緩やかな回復基調が続いているものの、中東諸国の紛争に起因した世界経済の下振れ、新興国の経済の景気減速懸念、英国のEU離脱問題の影響による急速な円高や株価の不安定な状況がみられ、景気は先行き不透明な状況で推移しました。

住宅業界におきましては、新設住宅着工戸数は前年同期比でプラス基調を維持しており、当社グループの主力販売分野である持家や分譲戸建住宅は、前年同期比回復傾向となりました。

当社グループは、2014年以降を『第三の創業』とし、これまで培ってきたDNAを土台とし、当社がニュージーランドで育林するニュージープインやその他国内外で調達する無垢材を主体とした新商品を武器として、国内においては戸建市場に加えてリフォーム、非住宅、DIYなどの新市場、海外においては、インドネシアをはじめとするアジア圏の市場を開拓するなど、今後の劇的な環境変化にも対応し得る体制を構築し、当社グループの独創的な市場を創造して、グローバルに成長していくことをめざしています。当連結会計年度は「『第三の創業』経営目標実現に向けてさらなる経営革新の実施」を営業方針としています。

当社グループは、環境共創企業として、これまで以上に、所有する山林資源を有効に活用した新商品の開発や業界をリードする省施工・簡単施工商品群を提案し、併せて更なる業務の効率化・コスト削減・資産の効率化等を図り、他社と差別化できる無垢商品群を武器に新しい顧客開拓にも注力しています。

また、主要都市に開設したショールームを活かし、無垢の木のキッチン「スイージー」を主体に、床材、内装建具などに加え「無垢の木の洗面台」「スイージーファニチャー」「無垢の木の収納」等の新商品を組み合わせ、トータルコーディネートすることで、お客様が実際の生活空間をイメージしやすいルームを再現し、無垢キッチン・無垢商品等の品ぞろえを広げ、販売を強化しています。

これらの結果、連結売上高は、15,785百万円（前年同期比0.4%増）、営業利益は164百万円（前年同期は営業損失97百万円）となりましたが為替の円高の影響もあり為替差損217百万円を営業外費用に計上し、経常損失は218百万円（前年同期は経常損失546百万円）となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は197百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失668百万円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

①住宅建材設備事業

住宅建材では、前年同期に比べ主に国内では建具・床材・収納等の内装材の売上が増加しました。壁紙に代わり、意匠性が高く、個性豊かな住空間の提案が可能な「デザインウォール」を発売し販促に努めました。「デザインウォール」は、ニュージーランドで計画的に植林、育林したニュージープインの無垢材を基材とし、表面にはうづくり仕上げなどの特徴的なデザインを施し、木の風合いを目と肌で味わうことができ、9デザイン、6カラーを用意し、お客様のニーズに合った木の住空間を提案しました。また、省エネ・省施工商品として木製内窓「MOKUサッシ」、省施工の断熱改修用パネル「あったかべ」、既存のフロアを剥がさずその上に施工できる「無垢フローリングピノアース6mm」やインテリア性の高い上質な空間を提案する室内ドア「ソフトアートシリーズE type」、箱型収納・棚板・金物を自由に組み合わせるオリジナル収納がつけられる「無垢の木の収納」等の様々な商品展開を行い、拡販に努めました。

住宅設備機器では、前年同期に比べ主に4つの樹種の無垢扉を選べる無垢の木のキッチン「スイージー」の売上が増加し、木のぬくもりを感じる「無垢の木の洗面台」、手で“触れたくなる”ような木の質感が漂う「スイージーファニチャー」など、無垢の木の強みを活かした商品とともに住宅の室内ドアや床材などの内装材とトータルコーディネート提案することで相乗効果を図っています。

また、FSCの森林認証材であるLVL等の構造材を使用し、高い耐震性能を担保した大空間や次世代型高性能住宅を実現する新システム「ワンズキューボ」の普及や長期優良住宅等の各種認定申請支援業務を行うとともにLVLの特徴を活かした非住宅市場への拡販を進めています。

この結果、当第1四半期連結累計期間における住宅建材設備事業は、売上高が15,490百万円（前年同期比0.4%増）、営業利益が106百万円（前年同期は営業損失158百万円）となりました。

②発電事業

発電事業では、本社敷地内に木質バイオマス発電設備を導入し、電気事業者に売電を行っております。木質バイオマス発電の運営におきましては、森林から直接産出する「間伐材等由来の木質バイオマス」、当社グループ内も含め製材所や木材加工所から生じる端材などの「一般木質バイオマス」、建築解体現場から排出される「建設資材廃棄物」を燃料として稼働しています。この結果、当第1四半期連結累計期間の発電事業は、定期点検などによる稼働日数の若干の低下もあり、売上高が294百万円（前年同期比4.1%減）、営業利益が57百万円（前年同期比16.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間における連結財政状態は、前連結会計年度に比べ、為替の影響もあり資産が2,600百万円減少、負債が255百万円減少、純資産が2,345百万円減少しました。内訳として、資産の減少は、主に受取手形及び売掛金が383百万円増加、その他(流動資産)が276百万円増加した一方で、現金及び預金が465百万円減少、棚卸資産が318百万円減少、主に為替換算によるニュージーランド子会社の立木勘定の減少から有形固定資産が1,896百万円減少、投資その他の資産が497百万円減少したことによるものです。負債の減少は、主に電子記録債務が354百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が253百万円減少、外貨建て借入金の為替換算の影響もあり短期・長期借入金が289百万円減少、繰延税金負債(固定)が292百万円減少したことによるものです。純資産の減少は、主に利益剰余金が372百万円減少、為替換算調整勘定が1,702百万円減少、非支配株主持分が111百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期(累計)及び通期業績予想につきましては、平成28年5月13日に発表した業績予想を修正しておりません。なお、業績予想を見直す必要が生じた場合には、速やかに開示する予定です。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項ありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項ありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更等)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微です。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しています。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,978	5,513
受取手形及び売掛金	8,606	8,990
商品及び製品	4,930	4,776
仕掛品	2,214	2,201
原材料及び貯蔵品	5,758	5,607
繰延税金資産	139	233
為替予約	302	152
その他	582	858
貸倒引当金	△20	△21
流動資産合計	28,492	28,311
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,729	8,375
機械装置及び運搬具(純額)	7,158	6,664
土地	12,447	12,334
立木	16,283	15,391
その他(純額)	2,087	2,042
有形固定資産合計	46,705	44,809
無形固定資産	502	477
投資その他の資産	13,380	12,882
固定資産合計	60,589	58,169
資産合計	89,081	86,481
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,407	5,153
電子記録債務	975	1,330
短期借入金	21,207	21,010
未払法人税等	601	246
引当金	227	611
為替予約	488	645
その他	2,467	2,501
流動負債合計	31,375	31,499
固定負債		
社債	4,700	4,700
長期借入金	9,336	9,244
繰延税金負債	2,202	1,910
引当金	352	359
退職給付に係る負債	847	857
その他	333	322
固定負債合計	17,773	17,394
負債合計	49,148	48,893

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,324	7,324
資本剰余金	7,519	7,519
利益剰余金	21,047	20,674
自己株式	△2,135	△2,135
株主資本合計	33,756	33,383
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	693	579
繰延ヘッジ損益	5	△53
為替換算調整勘定	4,612	2,909
退職給付に係る調整累計額	△111	△106
その他の包括利益累計額合計	5,198	3,329
新株予約権	197	206
非支配株主持分	779	667
純資産合計	39,932	37,587
負債純資産合計	89,081	86,481

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	15,729	15,785
売上原価	11,561	11,281
売上総利益	4,168	4,503
販売費及び一般管理費	4,265	4,339
営業利益又は営業損失(△)	△97	164
営業外収益		
受取利息	3	1
受取配当金	28	31
受取賃貸料	31	32
電力デリバティブ評価益	—	13
その他	28	24
営業外収益合計	92	103
営業外費用		
支払利息	135	130
売上割引	110	116
為替差損	170	217
持分法による投資損失	—	9
電力デリバティブ評価損	108	—
その他	16	13
営業外費用合計	542	486
経常損失(△)	△546	△218
特別利益		
固定資産売却益	0	10
その他	0	1
特別利益合計	0	12
特別損失		
固定資産売却損	0	6
固定資産除却損	0	1
為替差損	391	—
子会社清算損	0	6
その他	11	0
特別損失合計	404	14
税金等調整前四半期純損失(△)	△950	△221
法人税、住民税及び事業税	98	205
法人税等調整額	△286	△205
法人税等合計	△187	△0
四半期純損失(△)	△763	△220
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△94	△22
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△668	△197

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純損失(△)	△763	△220
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	252	△113
繰延ヘッジ損益	△177	△62
為替換算調整勘定	△1,865	△1,714
退職給付に係る調整額	△5	5
その他の包括利益合計	△1,795	△1,885
四半期包括利益	△2,558	△2,105
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,147	△1,994
非支配株主に係る四半期包括利益	△411	△111

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。